



統計学のすすめ

講師として情報科学を担当し、実り多い1年でした。授業やその準備が自分を成長させてくれました。1年の出来事を、季節の花とともに振り返ります。

統計検定1級に合格

退職後に受験を始めた統計検定1級に合格することができました。授業を受け持つことでモチベーションが高まったのです。統計検定の勉強は、学ぶということの意味を教えてくださいました。(https://www.toukei-kentei.jp/voice/entry/koe-16866)



姫こぶし：大きく成長

日本科学教育学会

論文投稿のため10月に加入しました。

大学で数学に行き詰まった自分にとって、これは画期的なことでした。孔子は「十有五にして学を志す」と言われましたが、私は「六十五にして学を志す」です。論文は「シミュレーションによる実証的学習方法」を提案するもので、6月に特集号「データサイエンスと科学教育」が刊行されます。

高校生の統計学

情報科学の教材作りに用いたRstudioでEpub（電子書籍）を作成しました。高校で学んだ統計的内容をさらに発展させる内容で、新年度は続巻を作成していく予定です。

Apple Books「高校生の統計学」で無料で読むことができます。

(KindleとGoogle Booksでも刊行予定です)



授業

生徒は各自クロームブックを持っており、授業でGoogle Colabを活用することができました。Google ColabではPythonとRを使うことができます。クロームブックでの授業は、1回目は戸惑っていた生徒も2回目はスムーズで、生徒の適応の速さに驚きました。



薔薇：力強い

ひょっこり統計

from notto



HomePage

ひょっこり統計のサイトに、授業の補足説明や発展的課題を載せ、自主的に復習や発展的学習ができるようにしました。コロナ禍ではオンライン授業でしたが、普段からホームページを授業の補充に利用することは意味のあることと考えます。



花菖蒲：凛として

Rstudio

ホームページ作りに威力を発揮したのがRstudioです。シミュレーションをしながら研究結果をレポートにまとめ、html形式で保存しサイトに公開できます。グループの研究結果を1冊の本にまとめることもできます。教育課程にプログラミングが取り入れられている昨今、経験しておくとは将来役に立つソフトです。



姫水蓮：清純さ

故郷への思い

七尾のデカ山は、第3代当主 畠山義統のとき京都祇園祭の山鉾にならひ、始められたといわれています。しかし、七尾の民衆は京風の山鉾を勇壮な軍船に仕立て上げます。風に幕をなびかせながら動くデカ山は、船乗りたちが力を合わせて動かす帆船を思い起こさせます。デカ山は陸に行く大きな船なのです。子供の頃、家を抜け出して見に行った朝山。おばあちゃんまで、デカ山と一緒に走っていく姿が目に焼き付いています。



プリンセスダイアナ

地震で大きな被害を受けましたが、多くの人に助けられた感謝は能登への愛着を一層強くしました。

「能登は海」 海のように深く果てしないものにこそ統計学が威力を発揮します。

能登島を中心として海上交通を整備し、能登をアレキサンドリアのような海洋科学の中心にしたい。大きな夢が広がります。

中学生のときの国語の先生の話では、能登の語源はアイヌ語で「のっと突き出た」という意味だそうです。それで、ページ上のバナーは **from notto** としています。